

プログラム名 (40字以内)	フィリピンで国際協力を考える～新興国におけるビジネス・政策の現場を訪ねる		
団体名/所属	フィリピン赤門会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	10人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	国際的な経験が豊富な方はもちろん、海外渡航が初めての方も歓迎いたします。本プログラムでは、ホテルの手配などを含め、学生主体で準備を進める場面もあるため、協調性を持って積極的に取り組める方のご参加をお待ちしております。		
活動期間	2026/3/3(火)～3/6(金)(受入先の都合により1週間程度前後する可能性あり)	主な活動予定場所	フィリピン・マニラ
プログラム実施の目的	フィリピンの企業、大使館、日本政府機関、国際機関(アジア開発銀行)への訪問、および可能であればプロジェクト視察などのフィールドビジットを通じて、国際的な仕事の現場を肌で感じると同時に、急速に発展を遂げているアジアの新興国であるフィリピンの社会経済情勢と開発課題について見識を深め、将来のキャリア選択の一助とします。		
具体的な内容(800字程度)	フィリピンは、その豊かな自然資源と活力に満ちた若い労働力を活かし、農業、製造業、サービス業など、様々な分野で近年急速に成長しています。この成長に伴い、日本との二国間関係も官民両方の積極的な交流を通じて日々深化しています。 このような背景の下、本研修では、国際協力に興味を持つ学生を対象に、フィリピンの社会と経済のダイナミクスを直接体験し、新興国でのビジネスと政策支援のやりがいや難しさについて洞察を深める機会を提供します。 具体的なプログラムの内容としては、マニラおよびその周辺地域で以下の活動を考えています。最終的なプログラムの内容は、実施期間の受入れ先の状況で変更がありうる点ご理解ください。 1. 企業訪問: 日本人同窓生が勤務する場所(民間企業、日本大使館、アジア開発銀行など)を訪問し、現地での仕事や生活についてディスカッションを行います。可能であれば、フィリピン人同窓生の勤務先(フィリピン政府や民間企業など)も訪問する機会も設けます(その場合の使用言語は英語となります)。 2. フィールドビジット: 受入れ先の了承が得られれば、現地のプロジェクトサイト、たとえば日本政府が支援しているインフラプロジェクトなどを視察し、日本の官民協力によってフィリピンの課題がどのように解決されているのかを具体的に理解します。また、参加者の希望があれば、現地のNGOを通じてスラムエリアの見学なども行うことも可能です。 3. ソーシャルイベント: フィリピン赤門会との夕食会を企画します。また可能であれば、滞在前または滞在中に、フィリピンの歴史、文化、および日本との二国間関係について理解を深める機会も設けます。 本プログラムを通じて、国際的な仕事、特に新興国でのビジネスや開発支援について、具体的なイメージを膨らませることができるのではないかと期待しています。		
【総額】参加するための費用	150,000円～200,000円程度		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	50,000円～70,000円程度(5泊、ツインルームをシェアの場合)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	国際航空券: 60,000円～100,000円程度、現地借上車: 20,000～30,000円程度(4日間利用)		
【内訳】参加するための費用(その他)	上記の費用は2025年初頭時点での現地の物価水準・為替レートを元にした見積もりであり、実際にかかる費用は経済状況などによって変動する可能性があります。また、現地借上車の1人あたりの費用は参加人数によって変動いたします。また各種サイトビジット(スラム見学)などには別途追加費用がかかる点ご注意ください。		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	治安面については、事前および実施期間中に心得るべき点についてのブリーフィングを行います。また、現地での移動は基本的に借上車を利用し、現地在住者が随行いたします。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		

※本プログラムは実施時期が未定のため、他のプログラムと併せて申し込む方は、重複に注意してください。